



# 教育目標「考動」

## 祝 卒業 ～笑顔は最高の贈り物～

桜の樹皮が赤く色づき始めています。これから、桜の蕾(つぼみ)は徐々に



膨らみ花を咲かせます。4月に花が咲き終わると、夏までには来年の蕾が形づくられます。そして、秋冬の休眠期を過ごし、3月の気温の上昇とともに膨らみピンク色になって開花します。桜だけでなく様々な草木が微妙な温度変化を敏感に感じとって成長することに感心させられます。先日、関東では春一番が吹きました。大陸育ちの高気圧が移動性高気圧となって日本を訪れます。春の訪れが感じられます。今年度も残すところ1ヶ月。本日、第43回卒業証書授与式を無事に行うことができました。

ところで、先日、ミラノ・コルティナオリンピックが感動の中、幕を閉じました。日本選手の金5、銀7、銅12の計24個のメダル獲得は冬季過去最多記録です。テレビでは、アスリートが活躍する場面が華やかに映し出されていました。そして、そこに至るまでのアスリートたちが費やしてきた時間とエネルギー、並外れた努力についても紹介されていました。

アスリートたちの活躍と笑顔は、日本中に感動を与えました。中でも、坂本花織選手の笑顔は大変印象に残りました。大演技の後のやり切った感の笑顔はもとより、ジャンプでわずかにミスが出た直後の氷上でやってしまったと言わんばかりに大笑いする姿や決戦前夜の夕食会場での、「頑張りーやあ！」とチームメートに声をかける姿を見ると、改めて笑顔の大切さを感じます。木原龍一選手の「…しばらくは自分の好きなものを食べたい」というコメントからは食事制限の厳しさが伺えます。

私たちの人生には、幾度となく困難な場面が訪れます。不安な気持ちになったり、プレッシャーを感じたりすることもあります。そんな時こそ、笑顔が大切です。笑顔には連鎖作用があります。みんなが笑顔でいると、エネルギーが湧き、前向きな気持ちで取り組む力が湧きます。笑顔は周りの人に良い影響を与え、周りの人も笑顔になります。オリンピックを観ていると、笑顔は人に元気を与えると同時に、自分を元気にする最高の贈り物であることを感じました。



## ❀ 第43回卒業証書授与式 ❀

<卒業生の皆さん>

昨年、滋賀県出身の坂口志文先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。坂口先生の言葉をお借りし、三つのことを伝えたいと思います。

一つ目は、「**自分で考える**」ことの大切さです。坂口先生はこう仰っています。私は、高校卒業後、1年間自宅で浪人生活を過ごしました。午前中は自宅で、午後は図書館で勉強する日々で、自分で時間をコントロールしなければならず、分からないことを解決するために自分で物考えるようになりました。この1年間があったからこそ今の自分があります、と。これからは人工知能・AIの時代です。AIは質問に対してもすぐに答え、業務の効率化や生産性の向上に大きく寄与します。AIは日常に欠かせないパートナーになりつつありますが、常に自分で考えることを忘れず、最後は、自分で「これだ！」と決める人間らしさを大切にしてください。

二つ目は、「**継続する**」ことの大切さです。坂口先生の研究は、はじめは周囲から注目を浴びず、20年間という長い道のりを経ての受賞でした。そのような状況でも、自分の研究を信じ、「一つ一つ」地道に続けられてきた結果、ノーベル賞受賞という快挙を得られました。継続することは、目標達成や自己実現、スキル向上に不可欠であり、「継続は力なり」の通り、小さな積み重ねが大きな成果や自信を生み出し、自己成長に繋がります。

三つ目は、「**人に頼る**」ことの大切さです。坂口先生は研究を続ける上で、常に二人三脚で研究してきた妻の存在が大きかった、と語っておられます。「人に頼る」ことは未熟であり、自立した人ではない、と考える人がいるかも知れませんが、人は人との関わりの中で「頼り、頼られ」、生きています。信頼し合える仲間と目標に向かって努力する経験は、人生を豊かにします。

卒業証書を手にした皆さんは、自らの意思と責任において、「夢と志」を高くもちながら、地道な努力を惜しまず、一步一步歩いていってください。



<保護者の皆様>

三年間の中学校生活を経て、立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、感激もひとしおのことと思います。これまで本校の教育活動にご理解と多くのご支援をいただきありがとうございます。このよき日を共に迎えさせていただいたことに心より感謝申し上げます。お子様のたくましく成長された姿から、わずか3年間ですが、いかに変化の大きい充実した3年間か、ということが伺えます。「自分でやってみよう」という気持ちから、我々大人の言うことに腹を立てたり、周囲が根ほり葉ほり聞くとうるさがったりする日もあったかもしれません。お子様は、思い通りにいかない時をきっかけにして、粘り強く努力しながら、課題を克服し、大人社会へ歩みを進めていきます。今後も引き続き、温かく見守っていただき、人生の先輩として、よきアドバイスをしていただきますようお願いいたします。

<地域の皆様>

子どもたちは未来を支えるかけがえのない存在であり、地域の宝です。時代は変わろうとも、子どもたちに希望のもてる未来を引き継ぐことが、我々大人の使命であると思います。引き続き、地域レンジャー活動へのご支援をはじめ、学校と手を携えながら、子どもたちの成長をお支えくださいますようお願い申し上げます。

■生徒会企画 第2回 Kita-1 GP

生徒会執行部の新たな企画、Kita-1 GPの今回は腕立てサバイバルです。優勝者は、2年の75回でした。



■中庭整備計画



学校夢プロジェクト実行委員からの発案でPTAの絶大なる協力をいただき中庭を整備して

いただいていたのですが、今年度分が終了しました。すっきりとし素晴らしい見栄えとなりました。

■地域 Ranger 活動感謝状贈呈式

今年度の活動は61回あり、のべ810人が参加しました。ご協力いただいた地域・PTAの皆様、参加した生徒の皆さんお疲れ様でした。2月27日に地域Ranger活動に貢献した人に学校運営協議会長様から感謝状を贈呈していただきました。1, 2年生は8回以上参加した人、3年生は、参加数が多い5人に感謝状が贈られました。また、各学年最も多い参加者には地域貢献大賞が贈られました。

1年	2年	3年
15回	13回	8回
12回	12回	7回
12回	9回	5回
10回	9回	4回
10回	8回	4回
8回		

また、活動に積極的に協力した人にPTA特別賞、3回以上参加した人には参加賞が贈られました。

PTA 特別賞

3年生4名



■受験シーズン終盤

2月25日県立高校学力検査、26日学校独自検査が終わり、県内私立入試、県外私立入試と続いた試験もひと段落です。今年は、県立高校の受検方法が大きく変わり、戸惑いも多かったことと思います。倍率も公表されずに不安もあったことと思います。インフルエンザのため追試験を受けた人もいました。

人生には常に選択の場面があります。どんな進路が自分に合っているかは、その道に進んでみないとわからないものです。これからの人生、自分の求める道をさぐりながら進んでください。今、新たなスタートです。

<今年度の出願者数>

県内私立高校 255、県外私立高校 161、県立高校 190 (辞退や欠席も含まれます)

■図書購入「成瀬は都を駆け抜ける」

第24回子どもの育成を考えるつどい(主催: 瀬田東・瀬田北学区青少年育成学区民会議)の参加賞と後援会の助成で各クラスに図書を1冊購入させていただきました。

